

<b>研究課題名</b>	重症頭部外傷における当院での頭蓋内圧モニタリングに関する実態調査
<b>研究の意義・目的</b>	GCS スコア 8 以下の重症頭部外傷は、ガイドラインにて頭蓋内圧モニタリングが推奨されております。しかし実臨床では、神経学的所見や画像所見を基に頭蓋内圧センサーを挿入して管理を行うかは、主治医の判断にて意見が分かれているのが現状です。頭蓋内圧モニタリング施行群、頭蓋内圧モニタリング非施行群に症例を層別化し、検討を行います。2 群間で患者の急変を予測しうる因子を確認することで、今後の治療方針変更の必要性の有無を把握し、さらなる救命率の向上を目指します。
<b>研究を行う期間</b>	機関の長の実施許可日 ~ 2027 年 6 月 30 日
<b>研究協力を お願いしたい方 (対象者)</b>	当院で 2018 年 1 月~2024 年 6 月末までに当院救命救急センター搬送された重症頭部外傷 (GCS スコア<8) の患者
<b>協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報 等の項目</b>	当院救命救急センターに搬送された重症頭部外傷 (GCS スコア<8) 患者を頭蓋内圧モニタリング施行群・非施行群に層別化し、2 群間での転帰を比較します。本研究では 2018 年 1 月~2025 年 5 月までの情報を取得します。 診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報：年齢、性別、受傷起点、受傷部位、AIS (Abbreviated Injury Scale)、ISS (Injury Severity Score)、PS (probability of survival)、バイタルサイン (血圧、心拍数、呼吸数、体温、意識レベル)、CT 所見、血液データ (Hgb、PLT、FDP、Fib)、転帰 (生存率、死亡率)
<b>試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b>	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科救命救急医学のみで行います。  【研究責任者】大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 西村 哲郎
<b>個人情報の取り扱い</b>	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
<b>本研究の 利益相反</b>	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
<b>研究に協力を したくない場合</b>	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
<b>連絡先</b>	大阪公立大学大学院医学研究科救命救急医学 准教授 西村 哲郎 Tel: 06-6645-3987